

電子書籍版

文献資料集成

〈学校から仕事への移行〉の形成

—日本の制度・実践・メディア—

第Ⅱ期 学校職業指導成立期の諸相編 全4巻

解題・監修 ◆木村 元 (青山学院大学特任教授、一橋大学名誉教授) 解題 ◆丸山 剛史 (宇都宮大学教授)

紙書籍 121,000円 (本体 110,000円+税) ISBN 978-4-86670-104-2 分売不可



電子書籍 SalesID KS00001358

同時アクセス1 133,100 円(本体 121,000 円+税)
同時アクセス3 242,000 円(本体 220,000 円+税)

学校と社会（仕事）へのつながりが転換点にある、いま、学ぶべき資料

近代日本において学校から仕事への移行がどのように整備されていくか、国家の制度的な枠組みの形成過程とともに、それをモデル化して提示した学校の動きを捉える資料とともに、そうした制度的な動向とは異なる社会の変動に対して独自に対応した学校の営みを含めて、諸資料を配しました。

(第Ⅱ期 導入解説より)



クレス出版

文献資料集成 〈学校から仕事への移行〉の形成 第Ⅱ期 監修・解題 ◆木村 元 解題 ◆丸山 剛史

◆各巻収録一覧◆

導入解説

第1巻 文部省外郭団体の職業指導 - 大日本職業指導協会から職業指導協会へ

「職業指導の沿革と其の意義」

水野常吉・大日本職業指導協会 (富山房、1928年)

「職業指導読本」

文部省構内大日本職業指導協会 (富山房、1928年、収録は訂正四一版、1933年発行)

「新制中学校と職業指導」

日本職業指導協会 (日本職業指導協会、1948年)

第1巻 [解題]

第2巻 戦前の学校職業指導実践

「我校に於ける職業指導の実際と施設案」

赤坂高等小学校 (1928年)

「小学校に於ける職業指導の実際」

下川兵次郎 (三省堂、1931年)

「本校の職業指導」

金沢市小将町高等学校編 (金沢市小将町高等学校、1935年)

「個性調査法」

金沢市小将町高等学校編 (金沢市小将町高等学校、1932年)

「小将町高等学校三代記」

金沢市立小将町中学校編 (金沢市立小将町中学校、1983年)

第2巻 [解題]

第3巻 重工業社会の到来と職業指導実践の模索

「学校方式の時代 - 1920~40年代の青少年労働を巡る転換の諸相」

木村元・高瀬雅弘・富澤知佳子 (『一橋大学研究年報 社会学研究』第四四巻、2006年)

「就職前の職業指導」

秋田職業紹介所編 (秋田職業紹介所、1940年)

「郷土より職場へ」

秋田職業紹介所編 (秋田職業紹介所、1940年)

「技術教育と職業実習」

日本技術教育協会編 (扶桑閣、1932年)

「普通学科」卷一

関口八重吉監修・日本技術教育協会編 (日本技術教育協会、1940年)

「仕上」(三)

関口八重吉監修・日本技術教育協会編 (技能者養成出版社、1942年)

第3巻 [解題]

第4巻 各種学校の動態 - 文部省・東京府(都)

「各種学校一覧 昭和一〇年六月現在」

東京府学務部学務課編 (東京府学務部学務課、1935年)

「各種学校一覧 昭和一六年八月現在」

東京府学務部学務課編 (東京府学務部学務課、1941年)

「各種学校一覧 昭和二三年一〇月三一日現在」

東京都教育局 (東京都教育局、1948年)

「各種学校要覧 (昭和一八年一一月)」

文部省総務局調査課 (文部省、1943年)

第4巻 [解題]

◎続刊予定

●第Ⅲ期 テキストとメディア 2024年予定

◇刊行済◇ 文献資料集成 〈学校から仕事への移行〉の形成 第Ⅰ期 - 制度・政策関係編 全5巻

監修・解題 ◆木村 元 解題 ◆丸山 剛史

定価 121,000円 (本体 110,000円+税) ISBN 978-4-86670-102-8

分売不可

〈学校から仕事への移行〉の母体ともいえる日本の学校の制度的基盤や性格を押さえる基本資料を収録。

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 メローナ日本橋
TEL (03)3808-1821 FAX (03)3808-1822 http://www.kress-jp.com/

●書店名

KRESS 株式会社クレス出版

刊行のことば

木村 元

現代は、学校から仕事への移行関係が過渡段階にあり、摸索の時期にあるといえるのではないか。学校を出て仕事に就くという、これまで当たり前のように学校と企業社会がつながつて来た時代が大きく動搖している。これらの学校と企業社会との関係を考える上でもあらためて両者の関係がどのように作り上げられてきたかを遡りそな性格を押さえることで、現在の学校から仕事への歴史的位置を確認することが求められている。

日本においての学校から社会への移行関係は、両大戦間を経て戦後本格的に拡大され、一九七〇年初頭には確立する日本型企業社会においてつくりあげられる。そのなかで学校は、一方的に社会の要求に対応するだけではなく、独自に対応の論理をつくりあげていったことによつて、固有な接続関係が生み出されたといえよう。

本資料集成は、この間の学校の制度的基盤や性格を押さえながら日本のへ学校から仕事への移行の形成がどのようになされていたのかを探ろうとするものである。

本資料集成は三部から構成されている。第一期（配本）では「学校から仕事への移行」の母体ともいえる日本の学校の制度的基盤や性格を押さえる基本資料を収録した。学校と社会との関係やへ学校から仕事への移行」という課題がどのように埋め込まれているかを改めて確認するものである。補巻には戦後の学校と社会の接続の形成に関する審議会関係資料も含めた。

第二期においては、「へ学校から仕事への移行」をどのように索引しようとしたかを示す資料を収録した。制度を支えた外郭団体、具体的なモデルを提示した学校や実践の動向、さらには社会の変動に対して独自に対応した教育の営みがわかる一連の資料を配した。第三期は、各期の教科書ならびに学校から仕事に関する重要な諸雑誌を収録した。教科書は何を教えるかという意図を集約したものであるが、実際にはその意図通り学び手に伝わるわけではない。どのように意図が実現されたかについての情報を得るには、その実践を紹介した諸媒体である関連雑誌を探ることが有用である。本資料集成では、一般的に入手しにくいテキストと学校から仕事への情報を取りついている重要な諸雑誌とを収録するとともに、幅広く関連雑誌の情報をリスト化して掲げた。

情報化の進展によつて関連資料の入手が比較的に容易になつてきているとはいえ、学校から仕事への移行の実態と意味を考えるために必要な資料は未発掘なものも含めて少なくない。本資料集成では、入手が難しいものだけではなく、今まで注目されることがなかつたものも収録した。さらに、基本的に比較的に知られているものでも新しい位置づけを与えた。また、収録資料以外に、全体を眺望し、研究を進めていくように関連雑誌の紹介もおこなつた。加えて、これまで内容が共有されてこなかつた重要な雑誌の目次リストを掲載するなど、今後の研究に資するように工夫を施した。

●本書の特色

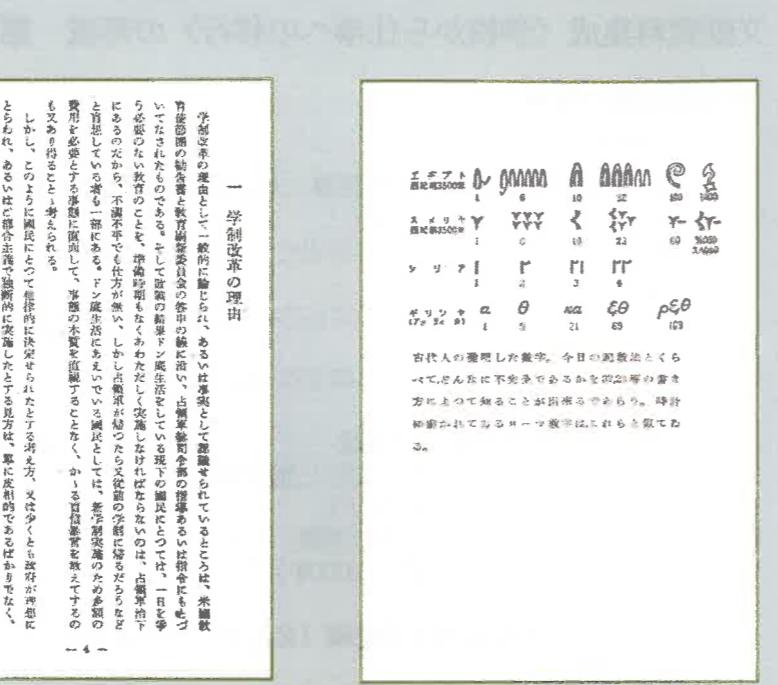
第1巻 具体的な実践形式を提示し学校職業指導の定着に大きな役割を果たした大日本職業協会から、形成過程をうかがえる3点を採り上げる。

第2巻 学校職業指導の先駆けとして赤坂高等小学校、東京市政策モデルとは異なる職業指導に着目。徒弟方式と異なる学校方式が取り入れられる過程、重工業化進展により学校職業実践の枠組が拡大した例として秋田職業紹介所から2点、日本技術教育連盟から3点を採り上げる。

■第2巻『小学校に於ける職業指導の実際』より



■第2巻『各種学校要覧』より



■第3巻『普通学科』より

■第1巻『新制中学校と職業指導』より

■第1巻『職業指導の沿革と其の意義』より

■内容見本



大日本職業指導協会

職業指導の沿革と其の意義

職業指導の沿革と其の意義

第一編 職業指導の沿革と其の意義

第二編 職業指導の沿革と其の意義

第三編 職業指導の沿革と其の意義

第四編 職業指導の沿革と其の意義

第五編 職業指導の沿革と其の意義

第六編 職業指導の沿革と其の意義

第七編 職業指導の沿革と其の意義

第八編 職業指導の沿革と其の意義

第九編 職業指導の沿革と其の意義

第十編 職業指導の沿革と其の意義

第十一編 職業指導の沿革と其の意義

第十二編 職業指導の沿革と其の意義

第十三編 職業指導の沿革と其の意義

第十四編 職業指導の沿革と其の意義

第十五編 職業指導の沿革と其の意義

第十六編 職業指導の沿革と其の意義

第十七編 職業指導の沿革と其の意義

第十八編 職業指導の沿革と其の意義

第十九編 職業指導の沿革と其の意義

第二十編 職業指導の沿革と其の意義

第二十一編 職業指導の沿革と其の意義

第二十二編 職業指導の沿革と其の意義

第二十三編 職業指導の沿革と其の意義

第二十四編 職業指導の沿革と其の意義

第二十五編 職業指導の沿革と其の意義

第二十六編 職業指導の沿革と其の意義

第二十七編 職業指導の沿革と其の意義

第二十八編 職業指導の沿革と其の意義

第二十九編 職業指導の沿革と其の意義

第三十編 職業指導の沿革と其の意義

第三十一編 職業指導の沿革と其の意義

第三十二編 職業指導の沿革と其の意義

第三十三編 職業指導の沿革と其の意義

第三十四編 職業指導の沿革と其の意義

第三十五編 職業指導の沿革と其の意義

第三十六編 職業指導の沿革と其の意義

第三十七編 職業指導の沿革と其の意義

第三十八編 職業指導の沿革と其の意義

第三十九編 職業指導の沿革と其の意義

第四十編 職業指導の沿革と其の意義

第四十一編 職業指導の沿革と其の意義

第四十二編 職業指導の沿革と其の意義

第四十三編 職業指導の沿革と其の意義

第四十四編 職業指導の沿革と其の意義

第四十五編 職業指導の沿革と其の意義

第四十六編 職業指導の沿革と其の意義

第四十七編 職業指導の沿革と其の意義

第四十八編 職業指導の沿革と其の意義

第四十九編 職業指導の沿革と其の意義

第五十編 職業指導の沿革と其の意義

第五十一編 職業指導の沿革と其の意義

第五十二編 職業指導の沿革と其の意義

第五十三編 職業指導の沿革と其の意義

第五十四編 職業指導の沿革と其の意義

第五十五編 職業指導の沿革と其の意義

第五十六編 職業指導の沿革と其の意義

第五十七編 職業指導の沿革と其の意義

第五十八編 職業指導の沿革と其の意義

第五十九編 職業指導の沿革と其の意義

第六十編 職業指導の沿革と其の意義

第六十一編 職業指導の沿革と其の意義

第六十二編 職業指導の沿革と其の意義

第六十三編 職業指導の沿革と其の意義

第六十四編 職業指導の沿革と其の意義

第六十五編 職業指導の沿革と其の意義

第六十六編 職業指導の沿革と其の意義

第六十七編 職業指導の沿革と其の意義

第六十八編 職業指導の沿革と其の意義

第六十九編 職業指導の沿革と其の意義

第七十編 職業指導の沿革と其の意義

第七十一編 職業指導の沿革と其の意義

第七十二編 職業指導の沿革と其の意義

第七十三編 職業指導の沿革と其の意義

第七十四編 職業指導の沿革と其の意義

第七十五編 職業指導の沿革と其の意義

第七十六編 職業指導の沿革と其の意義

第七十七編 職業指導の沿革と其の意義

第七十八編 職業指導の沿革と其の意義

第七十九編 職業指導の沿革と其の意義

第八十編 職業指導の沿革と其の意義

第八十一編 職業指導の沿革と其の意義

第八十二編 職業指導の沿革と其の意義

第八十三編 職業指導の沿革と其の意義

第八十四編 職業指導の沿革と其の意義

第八十五編 職業指導の沿革と其の意義

第八十六編 職業指導の沿革と其の意義

第八十七編 職業指導の沿革と其の意義

第八十八編 職業指導の沿革と其の意義

第八十九編 職業指導の沿革と其の意義

第九十編 職業指導の沿革と其の意義

第九十一編 職業指導の沿革と其の意義

第九十二編 職業指導の沿革と其の意義

第九十三編 職業指導の沿革と其の意義

第九十四編 職業指導の沿革と其の意義

第九十五編 職業指導の沿革と其の意義

第九十六編 職業指導の沿革と其の意義

第九十七編 職業指導の沿革と其の意義

第九十八編 職業指導の沿革と其の意義

第九十九編 職業指導の沿革と其の意義

第一百編 職業指導の沿革と其の意義

第一百一編 職業指導の沿革と其の意義

第一百二編 職業指導の沿革と其の意義

第一百三編 職業指導の沿革と其の意義

第一百四編 職業指導の沿革と其の意義

第一百五編 職業指導の沿革と其の意義

第一百六編 職業指導の沿革と其の意義

第一百七編 職業指導の沿革と其の意義

第一百八編 職業指導の沿革と其の意義

第一百九編 職業指導の沿革と其の意義

第一百十編 職業指導の沿革と其の意義

第一百十一編 職業指導の沿革と其の意義

第一百十二編 職業指導の沿革と其の意義

第一百十三編 職業指導の沿革と其の意義

第一百十四編 職業指導の沿革と其の意義

第一百十五編 職業指導の沿革と其の意義

第一百十六編 職業指導の沿革と其の意義

第一百十七編 職業指導の沿革と其の意義

第一百十八編 職業指導の沿革と其の意義